

午年ルーキー2人が大先輩に挑む!

初めてできたプロバスケットボールチーム「和歌山トライアンズ」の午(う)志年トリオが、和歌山発祥のスポーツ「バスケットピンポン」に挑戦。バスケットと聞くと黙っていられないのがバスケットマン。23歳の午年ルーキー・中島良文、丸山公平両選手が、大先輩の青野文彦選手(35)にガチで挑む。負けたら屈辱の顔面落書き。いざ、勝負だっ!



新春★バスピン対決



☆お楽しみの罰ゲーム☆

やはり、先輩の力は偉大!



中島、負けるな

もちろん2人も...



「明けましておめでとうございます」

「バスピン」は初めてという3人は、試合を前に黙々と練習。さすがスポーツ選手! すぐにコツをつかみ、ヒット(相手のバスケットに球を入れること)を連続した。

試合開始早々、中島選手がヒットを決め、丸山選手は卓球の愛ちゃんになりきり、「サー」を連発! 簡単には負けられない青野選手は、大きな体から繰り出される繊細なフケットさばきと先輩の力を



和歌山市十番丁の「躍」。居酒屋「晩酌家ハネ馬」で、新年の抱負(プロ選手になる)を聞いた。翼を伸ばすまで、苦勞し上げた天馬のように、こしもトライアンズが空高く羽ばたきますように☆

◇ 丸山 1年目は我慢の年でした。こしも目標は「ザ・飛」

青野 1人目の子どもが生まれた時に成績がグッと上がった



馬刺しで乾杯

食事会場に潜入!



トライアンズの「暴れ」

試合では大暴れ! 気迫あふれるプレーやユニークなパフォーマンスでファンを魅了し、チームの勝利に大きく貢献している川村卓也選手。そんな川村選手に突撃インタビュー!!

和歌山に来て、5カ月。チームの印象は? 「来てすぐのプレッシャーは、どなたも感じました。和歌山のファンも多く、今ではチーム力が格段に上がった。『すぐにはうまくいかないものだな』と、あらためて実感しました。」

印象は? 公開練習、徐々には目をつけていける。会

足だなどたら絶対、見結果を残るを、み

かわむらたぐや